こびとのおうちえんLetter

3月号

うぐいすが鳴いている声がひびく。
2月後半は、フキノトウ、つくしさがしのおさんぽ三昧だった。
毎日のように、だれかが出かける。とくにハマッていた ひさと るだい こうた は、けっこうな頻度で出かけた。私もめっちゃ楽しくて、何回行ったかなあ〜。そして、行く度に「あった！あった！」とフキノトウが見えてくるのがおもしろくて、みんなで夢中になった。たのしすぎ♥ ふっくんのフキみそ。みんなでフキノトウとつくしの天ぷら屋さん。できたての味は格別。ひじきゆがいたり、ワカメ干してあったり。あ〜春だねえ〜。

3月のお母さんグループ

15日(金) 13:00〜15:00
場所：大野地区老人作業所
内容：フィーリング グループ
※参加される方は、事前にご連絡下さい。当日参加もOKです。

2月はこんなことしました

- ふきのとう、つくしとり
- 石城山へのぼる
- 氷さがしさんぽ
- おたまじゃくしとり
- キクラゲとりたんけん
- みそ作り
- 山の広場でそりすべり
- みかんジュースづくり
- 船若寺の火渡りにいく
- 鼓ヶ浦であそぶ
- 大島大橋作り
- はっさくもぎ
- たこあげ
- 舟を作ってうかべる
- ふきみそづくり
- フキノトウ・つくしの天ぷら屋さん
- おとまり会ミーティング（年長さん）
- ひじきをゆがく

etc…

たびだちの会

卒園おめでとう。いてくれて、ありがとう。
どの子のココロもからだもおおきくたくましくなりました。おうちえん今年度最後の日をみんなで楽しく温かくすごせたらと思います。

3/27(水) 9:30〜12:00

1日の流れ
9:30 モーニングミーティング
あそぶ
10:50 たびだちの会
12:00 お赤飯のおにぎり食べて さようなら

______ の様子をおしらせします。

3月のスタッフプラン

- 春をさがそう
- 流木・貝・シーグラスの工作

8日(金) おべんとうの日 → おべんとうをおねがいします。
防府、天神山へいこう

19日(火) おにぎりの日
※空のおべんとう箱をもたせて下さい。

おしらせ

______ が、ご家庭の事情により今年度いっぱいで退園することになりました。さみしくなりますが、来年度の年長さんキャンプ（夏・冬）はぜひ一緒に！と思っています。

- おうちえんの欠員が3名あります。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃったら、ご紹介下さい。
- 春休みは、**3/28(木)〜4/4(木)**です。
- 来年度は、**4/5(金)**スタートです。(10:00〜14:00)
- **4/21(日)** 10:00〜12:00 保護者会を行います。なるべくご都合つけてご参加いただけるようお願い致します。

※4/5 はじまりの会、4/21 保護者会については、後日詳しくお知らせします。

- 今年度最終日には、在園の方もカゴの中の荷物を（置きぐつも）お持ち帰り下さい。よろしくお願いします。

平成31(2019)年3月4日発行 第99号

3/2 卒園おとまりキャンプが終わった。その終わる直前のみんなの写真がとりたくて、テントの前にすわって並んだ5人の顔(とじ)が、すごくやわらかで晴れやかだった。すごく満たされていると思った。その顔を思わず、ふりかえりの時に思い出して、こみ上げてくるものがあった。ふりかえりの時間もみんなが堂々としていて心打った。

ああ、よかったなぁと思った。りょうすけ がいなかったのは、とても残念だった。(きっと本人もそうだろう。)でも、りょうすけ が、元気で旅に出て、いい時間をすごしてくれることが、私にとっても喜びだ、と、今思っている。

いろんなことがあった1年だった。心の中は、うごめいていた。正直、今は、縮まっている自分を感じている。本当の意味で、のびやかにおだやかにやっているとはいえない。すべてではないけれど。

一生けん命やっても認められない。人とのキョリを感じる。在り方を否定される。信頼を失う。こわくてふみ出せない。自信もない。受容とはなんだ？ 共感とはなんだ？ それなしの自己一致では、だめやろ。年を重ねて成熟していくはずが、今だにこんなところをさまよっている。イタイ思いをするのは、それだけのことを自分がしているから。それは受けとめて取りくむ必要がある。

でもさぁ…と思う。それでも、私は私でいたいと思う。弱い部分も足りない部分も持っているけれど。そして、思う。みんな、自分でいたいよね。と。

3月を迎えて ほのこ つむぎ いちだい が3才だったころの日誌を見直した。ああ、こんなふうに過ごしてたっけなぁ、とりけな姿があった。そして、年月かけて育ててきた関係があったなぁと、やっと、今になった。というか。

そのノートには、今のてらこやのメンバーやOBの姿もたくさんあって、温かいものもちゃんとあるのだ、と思い直す機会になった。　愛はここにあるよ。

宮野 嘉子

ようこのちょこっとおうちえん日誌 〜日々のあれこれ〜

かえりの会で、ももちゃんが「おふくとオニ」のお話を、手作りの人形を使ってやってくれた。節分の豆まきの由来のお話。お人形や布を使ってのお話にみんなひきこまれてよくきいていた。ももちゃんの経験の豊かさも感じてすばらしかった。私としては、各々日にお話だけをしてくれた時の方が、より、ぐぐっと場が集中したかんじになったな、と思った。絵がない分、イメージを自分の頭の中にめぐらせながらきかねばならない。そこが魅力だった。(2/1)

雨の日、おたまじゃくしとりに つむぎ こうた ちさ と出かけた。けっこう寒くて、ちさ は着いたころには泣き出した。おたまじゃくしとりに火がついた つむぎ こうた は、「まだ帰らん。」って。ビジターさんにおねがいして、私は ちさ をおうちえんへ送っていく。ちさ おフロであたたまる。おにわでは、ふっくん みと いっき が雨よけの板の下でたき火して、はっぱのお茶作りしていた。なんか、いいかんじ♪ お茶を入れてくれて、あたたまった。わたしは、もう1回もどるために今度は、動きたい るい をつれて走っていく。近くまで帰ってきてた。よーあそんだねー。おフロ、どうぞー。(2/19)

りょうすけ のたんじょうびのハッピーバースデイのうた。あらた が、めっちゃ大きい声でうたっていた。ちょっと感激がとまらない わたし。(2/8)

川であそんでた時、水のかけ合いをしよう！と かんせい がしかけてくる。ようこ、上のきがえない…と言うと、「家にとりにかえればええやん。近いし。」(で…そのあとは、やっぱりぬれました…。)(2/18)

「今日、海に行こうと思うけど、どう？」って かおる にきいたら、「それはきもちいいとおもう。」(2/25)

にわとりごっこ。みんなが「こっこっこっこっ…」とあるいていく。ともや は、「とっとっとっとっ…」とあるいていく。(2/26)

船の原っぱであそんだ。さいしょは、ひかるが走ってこどもらが追いかけて、それでどんどんもり上がってくる。次はふっくんが走って、こどもら、おいかける。タッチされると次は、ようこも！が一ーン！ すぐつかまるやん…。くやしい。大人もこどもも真剣に走っておもしろかった。その後は海の生きものごっこ。(2/5)